

15年度校内研究のまとめ

本校では、13年度の試行を経て14年度より算数科における少人数指導、及び3年生以上の習熟度別グループ指導をシステム化し、児童の基礎学力向上に全校を上げて取り組んでいる。

今年度は「授業の質的改善」を目標に掲げ、個に応じたよりきめ細かな指導方法を追究してきた。加えて、6年においては教科担任制を導入し、教師の得意分野を生かした授業、より質の高い授業を行うことで、児童一人一人に確かな学力を身につけさせ、学習への意欲を高める工夫を行ってきた。

各部会ごとの成果と課題についてはこれまで述べてきた通りである。ここでは「基礎・基本の手引き」の達成状況や学習意欲の調査結果をもとに、校内研究全体にわたり考察を加えることとする。

(1) 基礎・基本の手引き達成状況から

本校ではどの子にも確実に身につけさせたい内容を「基礎・基本の手引き」として示し、年2回その達成状況を報告し合っている。

3月初旬の最終報告会では、学年平均90%と100%には届かなかった。報告会以後、児童のつまずきの原因を探り、繰り返し指導を行いながら内容の定着を図るようにした。

今年度は手引きに示された内容の精選や具体的な指導の手立て、評価等についても検討を加え、年度末には学校独自の評価テストを作成し実施した。手引きに関してはその性格上、日常の教科指導やスキル学習を通し、児童の達成状況を評価し蓄積していくと共に、評価後の補充指導が大変重要であると考えられる。

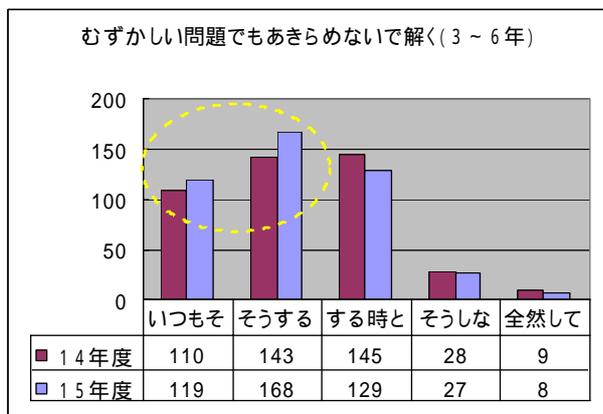
表1：基礎・基本の手引き

黒松小学校 算数科 学年別基礎・基本の手引き	
○1年生	<ul style="list-style-type: none"> ・数学が正しく読め、書ける。 ・100ます計算（たし算・ひき算）が最後までできる。
○2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・九九が、よどみなく言える。 ・100ます計算（たし算・ひき算・かけ算）がそれぞれ5分以内ができる。 ・定規を使って、筆算をきれいに書きながら、たし算・ひき算ができる。 ・100より大きい数が読め、書ける。 ・時計を見て、時刻がわかる。 ・決められた長さの直線を正しく測ったり、引いたりすることができる。

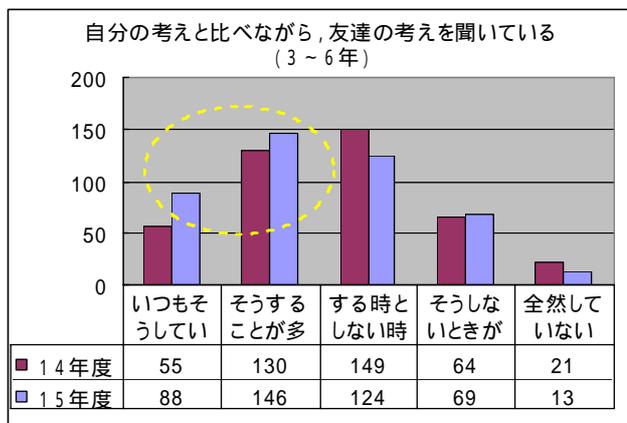
2. 児童の学習意欲の変容（詳細は平成15年度学習意欲の変容調査結果）

2月中旬に実施した学習意欲に関する調査では、昨年度に比べ以下のような変容が見られた。

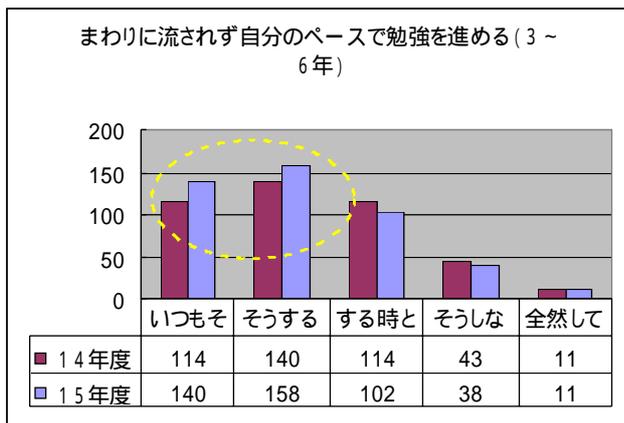
- ・「むずかしい問題でもあきらめないで解く」「自分の考えと比べながら、友達の考えを聞く」「まわりに流されず自分のペースで勉強を進める」の3項目について、全体的にプラスの変容が見られる。
- ・学習用具の忘れ物について「いつも気をつけている」と答えた児童の割合が大きく伸びた。



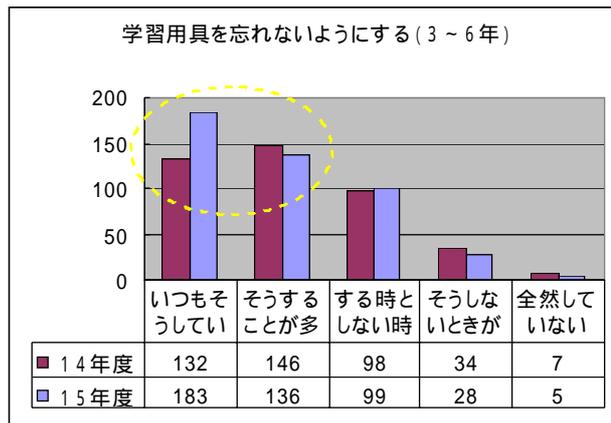
グラフ1（2004年2月学習意欲に関する調査）



グラフ2（2004年2月学習意欲に関する調査）

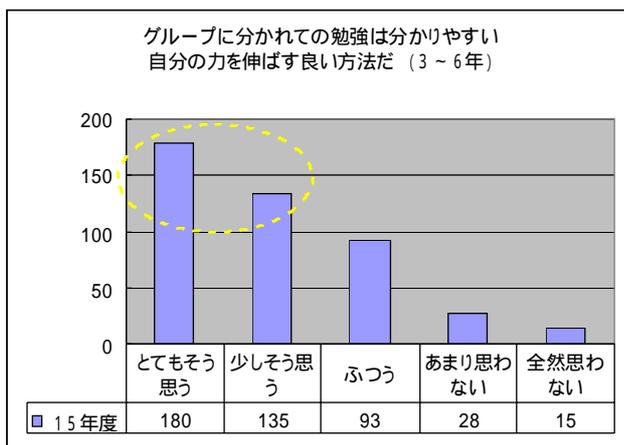


グラフ3 (2004年2月学習意欲に関する調査)

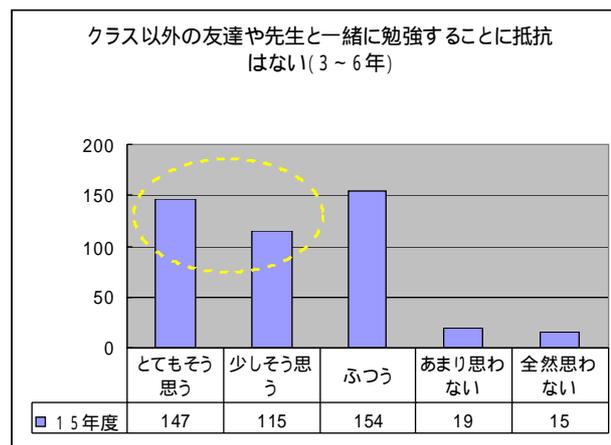


グラフ8 (2004年4月学習意欲に関する調査)

- ・1・2年の少人数指導では、「グループに分かれて勉強することが楽しい」「自分のクラス以外の先生や友達と勉強することが楽しい」と感じている児童が多い。
- ・3年生以上の習熟度別グループ指導では、「分かりやすい、自分の力を伸ばす良い方法だ」、「だれとでも抵抗なく学習できる」と答える児童の割合が高く、本校の算数システムが児童にしっかりと定着してきたことが伺える。



グラフ5 (2004年2月学習意欲に関する調査)

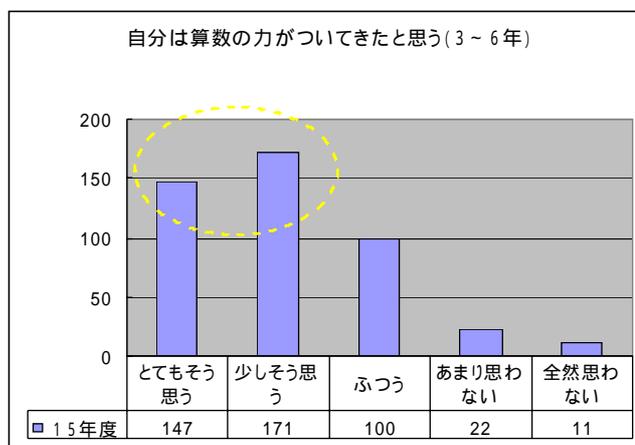


グラフ6 (2004年2月学習意欲に関する調査)

- ・「算数の力がついてきた」と感じている児童(「とてもそう思う」「少しそう思う」)が3年以上では約71%に上る。

- ・教師の指導に関しては、「わかるまでていねいに教えてくれる」「ヒントや資料、道具などを用いてわかりやすく説明してくれる」と答えている児童の割合が多い。

また昨年に比べ、「授業中、自分の考えを発表する場がある」と答えた子の割合も増えてきている。



グラフ7 (2004年2月学習意欲に関する調査)

3. 課題・次年度の方向

(1) 個に応じた指導の工夫

習熟度別グループ編成においても、当然のことながらグループ内の個人差は存在する。今年度は授業の質的改善を目標に掲げ、個に応じた指導法の改善に取り組んできたが、子供一人一人の習熟度や学びのタイプに応じたきめ細かな指導の工夫といった面で若干課題が残った。

しかし、12月に実施したG3グループの授業研究では、グループの児童の学びを3つのタイプに分け、それぞれに異なる到達目標や個別の課題を与えて取り組ませるなど、今後の方向性を示唆する提案が行われた。

次年度は、こうした各グループ内の個々の児童の習熟度や習得特性を細かく捉え、一人一人を生かし、確実に力を伸ばす指導の工夫や改善をより一層進めていく必要があると考えている。

(2) スキル学習の充実と発展

本校では平成13年11月より、100ます計算を算数スキルの柱として全校で取り組んでいる。これは、当時計算力の低下が学校全体の傾向として見られ、そのことが算数における学力の低下や意欲の停滞にもつながっていたことが導入の最大の理由である。

100ます計算は計算力の向上や児童の集中力を養う意味でその効果は大きく、本校では取り組みはじめてわずかの期間でどの子も計算力を大幅に伸ばすことができた。その結果、現在では計算に関してどの学年も高い水準を保てるようになった。

一方、児童の計算力の向上に伴い、「他の領域を強化する内容のスキルを取り組入れてはどうか」「子供の実態にきめ細かく対応する、独自のスキル開発をしていきたい」といった意見が年度末反省会で出された。

今後100ます計算の長所・短所を十分踏まえ、各学年やグループ、個々の児童の実態に即したより有効なスキル学習の開発に取り組んでいきたいと考えている。

(3) グループの実態に即した独自の指導計画作成

本校では以下(表2)のような指導のめやすを基に習熟度別指導を進めている。しかし、それぞれの実態が大きく違うため、グループによっては内容の精選が必要であったり、逆に発展問題の内容や取り組みせ方に工夫が必要であったりと、現在の指導計画だけでは十分対応しきれない面が出てきている。個々の児童や各グループの実態によりきめ細かく対応していくためには、それぞれのグループに応じた独自の指導計画を作成する必要がある。

限られた年間指導時数を有効に活用し、どの子にも確実に力をつけさせ、ステップアップを図ること、それが本校が目指してきた習熟度別指導である。独自の指導計画作成は、個に応じた指導をさらに一歩前進させる上で当然の流れと言える。こうしたきめ細かな指導が、ひいては子供一人一人を生かし、大切にするとする本校の教育目標の具現化につながっていくと考える。

(4) 個を生かす評価の工夫

個に応じた指導を進める上で、その実態を的確に捉えることが不可欠である。本校ではCRT検査、算数のあゆみ、基礎・基本の手引きなど全体的な評価に関しては、ほぼ大枠は完成されたといえる。

今後は小単元や時中における個々の児童の達成状況や変容を的確に捉え、次の指導に生かす評価の工夫が求められる。

昨年開発した「学習チェックカード」の内容の見直しとその有効活用方法を探っていきたい。

また、教科担任制については、中学校との連携を図り、その指導効果、学力向上の具体的な検証もあわせて進めていきたいと考えている。

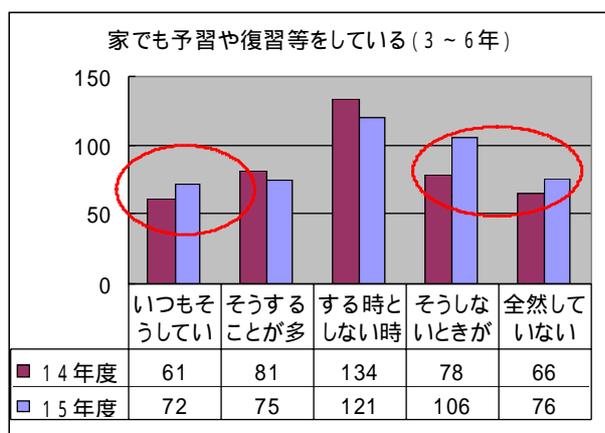
(表2：習熟度別指導における各グループのめやす・方向性)

グループ	主な学習のめやす	指導の方向性
A	「基礎・基本の習得」 これまで学習した内容を復習しながらじっくりと取り組む。	・その子の学習状況に合った個別の手立てや段階的指導によって、基礎となる力を身につけさせる。
B		・それぞれの弱点の克服に重点的に取り組ませる。 ・基礎・基本の習得において自力解決を目標とさせる。
C	「基礎・基本の確実な定着」 自力で問題を解決する力を高める。	・基本的な問題に繰り返し取り組ませ、解決の手順や考え方を確実に身につけさせる。
D		・力に応じているいろいろな適応問題に取り組ませる。 ・発展問題の解決にも挑戦させる。
E	「応用・発展」 基礎・基本の確実な定着とその上に立った応用・発展問題の解決	・積極的に発展問題に取り組ませ応用力を身につけさせる。 ・自分なりの考え方や解き方に対して、筋道を立てて説明し解決することができるようにする。
F		・学習した内容が、生活の中のどんな場面で活用され応用されているか関心を持たせる。

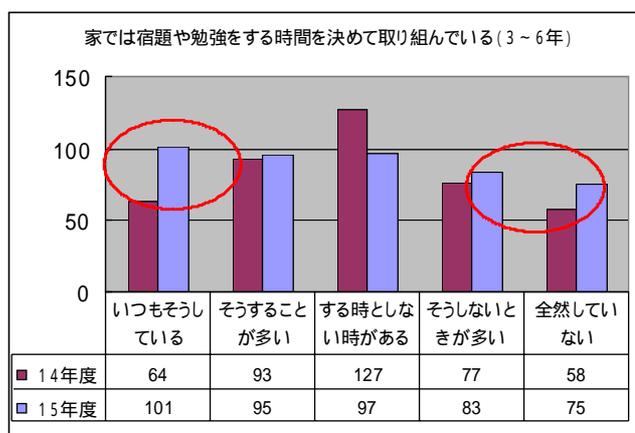
(5) 児童の学習習慣の形成・家庭との連携の強化

グラフ 12, 13 が示すように、家庭学習に関する項目「予習や復習をする」「家庭学習の時間を決めて取り組む」では「いつもそうしている」と答えている児童が増えている反面、「あまりしていない」「全然していない」と答えている子の割合も増加の傾向にある。

学習したことを確実に定着させるためには、日々の予習・復習が欠かせない。この点に関しては家庭の理解と協力が不可欠である。家庭との連携をより強化し、児童の望ましい学習習慣を形成していく必要があると考えている。



グラフ 8 (2004年2月学習意欲に関する調査)



グラフ 9 (2004年2月学習意欲に関する調査)